

高圧ガス事故事例情報シート

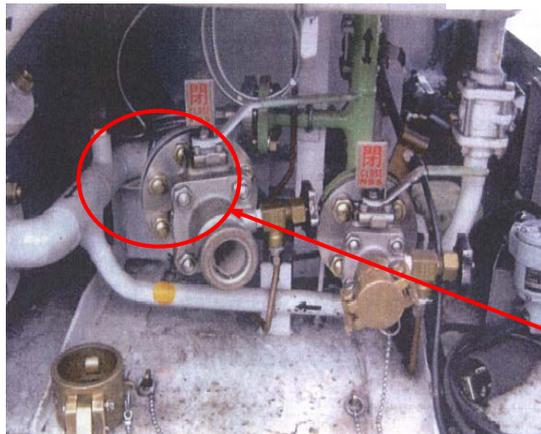
整理番号 H20-11	事故名称 充てん中のローディングアーム接続配管の変形		
発生日 2008年3月25日	事象 破裂・破損等	原因大分類 人	KHK Code 2008-0218
発生場所 平塚市	ガスの種類 液化石油ガス	原因中分類 誤操作、誤判断	
事故区分 製造事業所(LP)	死亡 0	重傷 0	軽傷 0
	原因補足 ローディングアームの切離し		

事故状況

バルクローリへの充てん終了後、液ラインのローディングアームを外さずにローリが発車したため、液側のローディングアーム接続配管及びメスカップリングが変形した。



Uボルトで固定していたところから変形



左側液ライン接続口が引っ張られて右方向に曲がった。

図1 配管の変形状況

高圧ガス事故事例情報シート

事故原因

ガスラインのローディングアームを先に外した後、係員が現場を一旦離れた(伝票を事務所に取りに行った)ため、液ラインが接続されたままであることを失念し、周囲の確認を怠りローリを発車させた。

措置・対策

1. ローリ運転手への安全作業の再教育の実施。
2. ローリ運転手への事故情報の共有化。

教訓

1. 作業が完了するまで現場を離れない。(ひと仕事ひと片付け)
2. 忘れ防止には作業開始から作業終了までの作業手順を記述したチェックリストが有効である。
3. ローリ運転手と立会い者で相互確認する。
4. 車のキーを受入前に事務所等に預け、作業終了後に受け取る仕組みで、忘れ防止を図る。
(一呼吸置く)
5. 全てが終了したことを確認しないと車両のエンジンがかからないようなシステムの導入も検討する。